

**問題No.1**

公共施設等で見かけるAED（心臓救命装置）の設置に関する次の記述のうち、最も適当なものはどれか。

1. 商業施設には、設置義務が法律で定められている
2. 学校や駅、公共の場所を中心に、設置しなければならない
3. 商業施設には、設置義務が法律で定められていない
4. 消防署や、行政の指導があったとき、設置しなければならない

**【解説】**

公共施設の管理者及び事業主に対しAEDを設置する義務はない。（2007年当時）

答 3

**問題No.2**

循環型社会形成推進基本法に関連する次の法律のうち、最も関係の薄いものはどれか。

1. 改正廃棄物処理法
2. 改正道路交通法
3. 容器包装リサイクル法
4. 環境物品調達推進法

**【解説】**

「改正道路法」は、循環型社会形成基本法に含まれない。

答 2

**問題No.3**

循環型社会の構築を目指して経済産業省が進める「3R政策」の3Rに関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。

1. Reduce ----- 発生抑制
2. Renewal ----- 再開発
3. Reuse ----- 再使用
4. Recycle ----- 再資源化

**【解説】**

資源リサイクル関連の基礎知識を問うものである。

-----  
**問題No.4**

基本的な業態分類に関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。

1. 店舗があるかないかで分ける
2. 販売方法の違いで分ける
3. 売上規模で分ける
4. 経営方法の違いで分ける

**【解説】**

改訂新版・Vol.4「商業施設・創造とデザイン」p.63

-----  
**問題No.5**

博物館に関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。。

1. 日本にある博物館のうち、博物館法で分類すると博物館類似施設は全体の3割になる
2. 博物館のマネジメントには大きく分け『コレクション』、『コミュニケーション』、『プロフィット』がある
3. 近年、博物館の収益源として物販や飲食、スペース貸し事業が見直されてきている
4. 博物館においても、顧客ニーズの把握と分析、またそれらに基づく戦略が必要となってきた

**【解説】**

約6割である。改訂新版・Vol.4「商業施設・創造とデザイン」p.130

-----  
**問題No.6**

前代未聞の経済危機といわれた2008年度、次の記述のうち、増収もしくは増益とならなかった企業はどれか。

1. 高島屋
2. マクドナルド
3. ローソン

4. ファーストリテイリング

答 1

問題No.7

省エネ、CO<sub>2</sub>削減に関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。

1. 大規模な火力発電所で集中的に効率的に発電することが、省エネで無駄がない
2. 京都議定書により、日本は1990年比マイナス6%という地球温暖化ガスの削減を果たす責任があるが、2007年度の段階で約プラス8%の状態となっている
3. 太陽光発電は技術革新もあいまって、ますます拡大することが予想される
4. 燃料電池はこれから注目されるものであるが、現段階ではCO<sub>2</sub>を少し排出する

【解説】

遠方の発電所で発電すると、熱として排出してしまうエネルギーが60%となる。熱が利用できないのは、大変に損失が大きい。使うところで発電する燃料電池では、発熱を有効利用できるため、ロスは約20%程度に収まる。

答 1

問題No.8

a～dの各種製図用具の名称に対して、次の1.～4.の記述のうち、各々、最も適当なものはどれか。

- a. 自在勾配定規
- b. テンプレート
- c. 三角スケール
- d. 雲型定規

1. 断面が正三角形で、縮尺目盛りが刻まれている
2. 塩ビまたは、アクリル製で、自由な曲線を引く
3. 角度を自由に設定できる定規である
4. 小さな円や楕円をコンパスを使わずに描く場合に用いる。三角、四角他、多角形のものもある

【解説】

改訂新版・Vol.4「商業施設・創造とデザイン」p.356

答 a-3、b-4、c-1、d-2

**問題No.9**

物品販売施設の基本設計の内容に関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。

1. ファサードデザインの決定
2. 顧客、従業員の動線計画の決定
3. 経営方針、販売方法、事業規模の決定
4. 商品配置計画の決定

**【解説】**

改訂新版・Vol.4「商業施設・創造とデザイン」p.352

答 3

---

**問題No.10**

色に関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。

1. 色の三属性とは、明度・彩度・色相のことである
2. 赤と青紫は補色の関係である
3. トーンとは色調のことで、明度と彩度の属性で決まる
4. 純色に白だけ、または黒だけを加えた色を清色という

**【解説】**

赤の補色は青緑である。

答 2

---

**問題No.11**

企画を表現することに関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。

1. マーチャンダイジングとは、商品の設定である
2. コンセプトとは、明確な指針の設定である
3. イメージは、総合的な姿の設定である
4. オペレーションとは、運営計画のことである

**【解説】**

コンセプトとは、具体的な目標の設定であり、明確な指針の設定はキーワードである。改訂新版・Vol.4「商業施設・創造とデザイン」p.349

-----

**問題No.12**

施設計画に関する次の全般的な記述のうち、最も不適当なものはどれか。

1. 商業施設では、できるだけ短時間に商品、サービスを提供するために消費者に対して宣伝、値引き、再販などが必要である
2. 商業施設における施設計画とは、事業企画に基づき、意匠、構造、設備などのハードの側面を合理的に計画することである
3. 廃棄物の処理、リサイクルへの配慮、街づくりへの配慮など地域環境への配慮も、施設計画としては重要な項目である
4. 商業施設は、効率、合理性を重視することと同時に、人間関係、時代性などを考慮することも重要である

**【解説】**

商業施設は、長く地域生活の利便性、合理性、付加価値性などを提供するために消費者との信頼関係を構築することが大切である。値引き、再販などは長期的展望には逆効果となる。

-----

**問題No.13**

施設計画に関する次の専門用語の記述のうち、最も不適当なものはどれか。

1. SMD (ストアマーチャндаイジィング)とは、商品の価格帯、対象客、テナントごとの商品構成などを効率よく配列することである
2. POS システムとは、販売時点での情報管理システムのことである
3. LCCとは、企画・建設から廃棄に至るまでの建物の生涯の総経費を言い、イニシャルコストとランニングコストとに分けられる
4. 2×4 工法とは、柱と梁によるモジュール工法である

**【解説】**

2×4 工法とは、枠組壁工法のことである。改訂新版・Vol.4「商業施設・創造とデザイン」p.281

-----

**問題No.14**

光源に関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。

1. 白熱灯は、最も基本となる電球で、色温度は 2,800K くらいである
2. FDL は、経済的でコンパクトな蛍光灯である
3. ハロゲン球は、立体感、素材感の演出に最適である
4. メタルハライドランプは、演色性が悪く、商業施設には使用されない

**【解説】**

改訂新版・Vol.4「商業施設・創造とデザイン」p.297～299

答 4

---

**問題No.15**

メンテナンスを考慮した設計に関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。

1. 設備機器の更新用に、床にマシンハッチを設置した
2. 設備配管類は、耐久性を高めるため床スラブに打込み方式とした
3. 床材として、将来入手しやすいよう一般品を採用した
4. 設備シャフトを廊下などの共用部分に面して計画した

**【解説】**

2. スラブ打ち込みとすると更新ができない。

答 2

---

**問題No.16**

監理業務における技術動向に関する次の記述のうち、最も適当なものはどれか。

1. 電気用品安全法とは、製造物の欠陥によって損害を被った場合に、被害者は製造業者などに損害賠償を求めることができるという法律である
2. ISO14001とは、地球環境の悪化に歯止めをかけるべく制定された労働衛生マネジメントシステムである
3. ISO9000シリーズは、「品質保証モデル」を示した国際規格群である
4. マニフェスト制度（産業廃棄物管理票制度）は、一般生活に伴う廃材にも適用される

**【解説】**

1. 改訂新版・Vol.4「商業施設・創造とデザイン」p.375。PL法の説明、電気用品安全法（PSE）は、法の改定により、平成18年より電灯付家具、コンセント付家具にも適用されている。
2. 労働衛生ではなく、環境マネジメントシステムである。
3. 改訂新版・Vol.4「商業施設・創造とデザイン」p.375
4. 改訂新版・Vol.4「商業施設・創造とデザイン」p.374

問題No.17

複合商業施設の内装監理業務に関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。

1. 工事区分表の作成、テナント区画図（白図）作成
2. 各種届出書類の管理
3. 施工中の安全管理
4. 引渡し立会い

【解説】

3. 施工中の安全管理は、テナント施工者の管理業務が主である。  
改訂新版・Vol. 4「商業施設・創造とデザイン」p. 372～374

問題No.18

建築材料に関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。

1. 太陽光を反射させる塗料を屋根に塗ることで、建物の温度上昇を抑えることが可能であり、省エネともにヒートアイランド現象の緩和に寄与する
2. シックハウス対策では、表面に出てこない接着剤等を除き、室内に面する仕上げ材に健康に害のある化学物質を含まないことを確認する必要がある
3. Low-E ガラスは、表面に特殊なコーティング処理を施したガラスであり、遮熱性・断熱性が高い
4. 建築関連材料にエコマーク商品の認定を受けたものがあるが、下図のようなマークがついている



【解説】

2. シックハウス対策では、仕上げ材以外に接着剤などへの配慮も必要である。

問題No.19

中心市街地に関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。

1. 中心市街地の衰退は、特に地方都市においては郊外型ショッピングセンター（SC）の進出で

客足が郊外に向けられたからである

2. 中心市街地とは、その地方の自治体にて認定された商店街のことである
3. 大都市における中心市街地は1ヶ所ばかりでなく、複数ヶ所に及ぶことも多い
4. 中心市街地は商業発展ばかりでなく、地域の中心的用途の施設も必要である

答 2

-----

**問題No.20**

ユニバーサルデザインに関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。

1. 米国のロナルド・メイスらが提唱し始め、「できるだけ多くの人々が利用可能であるように製品、建物、環境をデザインする」ことをさして言う
2. バリアフリーとは、バリア（障壁）の存在を前提として、その除去を行うというもので、ユニバーサルデザインを包含し、発展させた考え方といえる
3. 基本的な7つの原則のみならず、「経済性の原則（効果と比べて負担が過度に重くならないこと）」や「審美性の原則（美しく魅力的であること）」等についても、検討していく必要がある
4. 7つの原則には、「誤って操作しても問題のない、またご操作をおこなさないデザイン」というものも含まれている

**【解説】**

改訂新版・Vol. 4「商業施設・創造とデザイン」p. 331

答 2